

施策 1 健康な心と身体を育むまちづくり

施策の目標

市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりを促し、それを支える保健・医療体制を充実させることで健康な心と身体を育むことができるまちをめざします。

施策の概要

健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間である「健康寿命」を延伸するための取り組みを推進します。

施策の目標指標

		基準値(R5)	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合	%	51.1	現状値を上回る	R12実績値を上回る
川口市民の 65 歳健康寿命(男)	年	-	18.12	18.12
川口市民の 65 歳健康寿命(女)	年	-	21.03	21.03

現状と課題

単位施策の目標

主な取り組み

単位施策①
保健・予防
活動の推進

・食生活や運動など生活習慣の改善、疾病の早期発見・早期治療を行う予防医療が重要です。また、こころの健康づくりや生きがいづくりも重要です。
・晩婚化に伴い、不妊を心配する夫婦や不妊検査・治療を受ける夫婦が増加しています。
・生命と健康を支えるため、食品の安全性確保が求められています。

・市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりと疾病予防を促します。
・こころの健康の維持及び向上を図ります。
・不妊検査や生殖補助医療に悩む夫婦に対し、情報提供や相談指導を実施します。
・必要に応じて食品等事業者に指導、助言をすることにより、市内で製造販売される食品の危害防止に努めます。

・市民の健康意識向上のため、健康相談や健康教育などの保健予防活動を実施します。
・疾病の早期発見・治療のため、各種健康診査や検診を充実させます。
・年代に応じて、こどもから高齢者まで生き生きと暮らせるための働きかけを行います。
・若年層のこころの健康に関する早期相談支援を行います。
・性や生殖に関する正しい知識の習得と健康管理を支援します。
・飲食店等の衛生管理を確認するため、保健所での監視指導を計画的に展開します。

単位施策②
医療体制の
充実

・救急搬送人員は増加傾向にあり、救急医療体制はひっ迫している状況です。
・市民が良質かつ適切な医療を受けられるよう、医療の質と安全が求められています。

・休日・夜間の医療体制の整備と救急医療体制の負担軽減を推進することにより、だれもが必要な時に必要とする医療を受けられるような環境をつくることをめざします。
・医療センターにおいては、救命救急センター、周産期センター等を設置し、これまで同様に地域の基幹病院として高度な急性期医療を提供していくことをめざします。

・休日や夜間帯の急病に対応するため、日曜・祝日当番医による診療や、川口市こども夜間救急診療所を運営します。
・患者やその家族からの医療機関に関する相談対応や、医療機関を対象とした医療安全に関する研修を実施します。
・医療機関等や薬局等に関する許可・届出及び監視・指導等を行います。
・医療センターにおいては、平均在院日数の適正化と新入院患者確保の両立により病床の最大活用とともに、経営管理体制の下で診療科・部門単位での目標管理を行い、組織的な経営改善の推進を図ります。

単位施策③
感染症対策の
強化

・新型コロナウイルス感染症の拡大、まん延により令和4年に感染症法が改正され、「予防計画」「健康危機対処計画」を策定することが定められました。令和6年に策定した両計画に基づき、人員体制確保や業務効率化、訓練等による人材育成を推進していく必要があります。

・感染症の予防と拡大防止を図るとともに、患者に対する適切な医療の提供を図ることにより、市民の健康を守ります。
・毎年、訓練を実施することで、健康危機に対応できる人材を育成します。

・感染症の発生状況を把握し、市民への注意喚起、基本的な感染症対策の周知を行います。
・感染発生時には、速やかに調査を行い、感染拡大防止を図ります。
・新興感染症に備えた訓練を毎年実施します。

単位施策④
医療保険制度
の充実

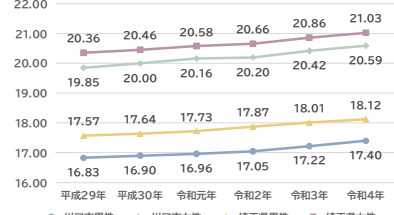
・特定健康診査・健康診査の受診率は年々増加傾向にありますが、目標とする受診率達成は厳しい状況であり、未受診者への効果的な勧奨が必要です。
・疾病の早期発見や予防を促進することで、医療費の抑制と保険税(料)の収納率向上による安定的な医療保険制度の運営が求められています。

・受診率向上によって生活習慣病の早期発見・重症化予防を図り、市民全体の健康水準を引き上げることで、「健康寿命の延伸」「医療費の適正化」につなげます。
・疾病の早期発見や予防を促進することで、医療費を抑制するとともに、保険税(料)の収納率向上を図ることで、財源を確保し、安定的な医療保険制度の運営をめざします。

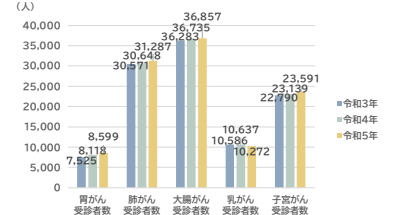
・受診対象者がスムーズに医療へアクセスできるよう、健診医療機関検索サイトを作成し運用します。
・未受診者へ受診を勧奨するとともに、勤務先で受けた健診結果や、生活習慣病で定期通院中のかたの保険診療で実施した検査結果を市へ情報提供してもらうことにより、特定健康診査を受診したとみなすことができる制度を活用します。

施策 1 健康な心と身体を育むまちづくり

65 歳健康寿命



がん検診受診者数の推移



関連する個別計画

- 川口市健康生きがいづくり計画・食育推進計画(第三次)
- 川口市国民健康保険第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)
- 第4期特定健康診査等実施計画
- 医療センター経営強化プラン 2024-2027
- 川口市感染症予防計画
- 川口市健康危機対処計画(感染症)

めざす姿 1 健康で、自分らしく生き生きと暮らせるまち

施策 2

高齢者が健やかに暮らし、活躍できるまちづくり



施策の目標

高齢者一人ひとりが、住み慣れた地域で、いかなる心身の状態であっても、尊厳を保ち、安心して幸福に暮らせる地域社会を構築します。

施策の概要

介護予防や日常生活支援の推進と併せ、生きがいづくりを促進するための事業の充実のほか、認知症への対応の強化や、医療と介護の連携強化等により、地域包括ケアシステムのさらなる発展をめざします。

施策の目標指標

		基準値(R5)	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合	%	27.5	現状値を上回る	R12実績値を上回る
要介護認定を受けている高齢者の割合	%	17.7	R12 推計値を下回る	R17 推計値を下回る
一般介護予防教室の参加者数(延べ)	人	8,789	13,411	13,508

現状と課題

単位施策の目標

主な取り組み

単位施策① 介護予防・ フレイル対策 の充実

・生活機能評価の結果から、「運動器機能低下」と「転倒リスク」「閉じこもり傾向」「うつ傾向」の強い関連性がみられ、運動器機能が低下すると、それに伴う新たな健康被害を生むことが懸念されます。
・早い段階からさまざまな形で介護予防・フレイル対策を進めることが必要とされます。

・健康づくりや介護予防の取り組みを推進し、高齢者一人ひとりができる限り住み慣れた地域で生活続けることができるようにします。
・高齢者の多様なニーズを踏まえた自立支援、介護予防、重度化防止に向けたサービスの充実により、心身の機能回復や日常生活における活動能力を高めることを図ります。

・早期発見・早期対応に向けた取り組みの推進により、高齢者がフレイル状態に陥らないよう予防すること、また既にフレイル状態にある高齢者の進行を防ぐことをめざします。
・多様な主体によるサービスの充実や取り組みを支える体制の整備により、自立支援や重度化防止のより一層の推進を図ります。

単位施策② 生きがいと 安全・安心な 暮らしを支える 施策の充実

・今後一人暮らし高齢者や認知症高齢者を始めとする高齢者がさらに増加し、地域の課題が多様化・複雑化していくことを踏まえると、重層的支援体制整備事業における属性や世代を問わない包括的な相談支援を推進することが重要です。

・社会参加や交流の場の充実により、高齢者一人ひとりが生き生きと自分らしく、楽しい生活が続けられることをめざします。
・本人や家族介護者への支援を充実させることで、認知症や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるような環境整備を図ります。

・高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的及び継続的な支援を行う地域包括ケアを推進します。
・高齢者が趣味やサークル活動を通じて地域社会と交流できる場の拡充や健康長寿を応援する取り組みを推進します。
・認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、本人や家族介護者のニーズに合わせた総合的な認知症施策の推進を図ります。

単位施策③ 介護保険事業 の持続可能性 の確保

・今後、医療・介護の複合的なニーズを有する高齢者の増加が予測される中、在宅医療・介護の連携の強化や、さまざまな介護ニーズに柔軟に対応できる在宅サービスの推進とともに、家族介護者が安心して介護ができる支援やサービスの充実が求められています。

・一人ひとりの意思を尊重し、一人ひとりの状態に応じた質の高いサービスが確保されるよう、必要な人材確保をはじめとする介護サービスの基盤整備をめざします。また、中長期的な視点に立った整備目標の設定をはじめ、将来にわたって持続可能な介護保険事業運営をめざします。

・可能な限り住み慣れた地域で生活を営むことができるよう、地域密着型サービスの整備を進めます。
・国や県、介護事業者等と連携し、介護人材の確保に資する取り組みの強化を図ります。
・給付適正化主要3事業を効果的・効率的に実施することで、介護保険制度の信頼感を高め、持続可能な介護保険制度の構築を図ります。

単位施策④ 在宅医療と 在宅介護の 連携強化

・今後医療・介護の複合的なニーズを有する高齢者の増加が予想される中、住み慣れた地域で誰もが自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療・介護の連携の強化、介護ニーズに柔軟に対応できる在宅サービスの推進が求められています。
・老後の孤独死を防ぎ、人生の終末期を有意義に過ごすために、終活についての普及啓発や支援が必要とされています。

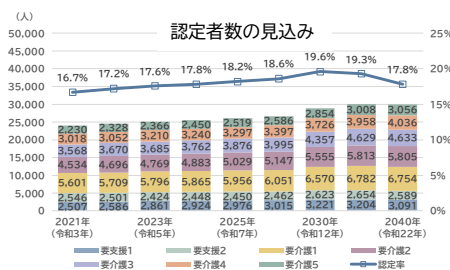
・在宅医療・介護の相談支援、関係者間の連携を強化、情報共有の支援を効率的、効果的に行うことで、医療や介護の双方についてニーズのある高齢者への効果的な在宅支援を実施します。
・老後の孤独死や人生の終末期の不安を解消し、残された人生を有意義に過ごすため終活支援の普及啓発や支援事業の導入により、一人ひとりの意思を尊重した生活を実現します。

・専門職の相談支援による在宅医療サポートセンターの利用を促進し、同センターと地域包括支援センターの連携による機能強化を行います。
・地域包括ケア連絡協議会での課題の抽出、多職種の協働・連携に関する研修の充実を図り、医療・介護の連携を強化します。
・ACP(人生会議)に関する講座の開催や、エンディングノートの活用、終活支援事業の導入について検討し、必要な支援を展開します。

地域包括ケアシステムイメージ図



認定者数の見込み



関連する個別計画

第9期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

施策2 高齢者が健やかに暮らし、活躍できるまちづくり

